

教科・領域【 工 業 】科目【 工業技術基礎（木材加工） 】

学科・コース	インテリア	学 年	第 1 学年	単位数	3 単位
--------	-------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

工業の専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に学習するものです。インテリア科においては、専門の学習の柱となる設計，デザイン，CG，木材加工の各分野を年間をかけて学習し，各専門技術と専門知識の基礎を体験的に学習します。

2 使用する主な教材等

(1) 使用教科書，副教材等 工業技術基礎（実教出版）
(2) 授業で配布するもの 補助説明プリント（適宜）

3 年間の学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 (特記事項や他教科との関連等)	考查範囲等
一 学 期	木材加工の基本 手工具の取り扱い	4	木材の特性や性質，取り扱いの基本を学習し，加工の基本である手工具（鋸，鉋，のみ等）の取り扱いと調整法について学習します。	インテリアエレメント生産の学習内容を確認しながら，補足的に資料提示する。	実習の取り組み，実習日誌，作品等による評価のため 考查は実施しない。
	木工機械の取り扱い 木取り作業	5	木工機械の基本的構成とその取り扱いを木取り作業を通して学習します。		
	部材加工	6	手工具や木工機械を用いながら部材の加工方法を学習します。		
	組立・接着	7	組立手順や効率のよい作業の進め方を学習します。		
	素地調整・塗装		製品の付加価値を高める手法や技術を学習します。		
《課題・提出物等》 毎回，実習日誌を提出します。学習内容の確認と反省を行い，次回に備えます。					
《1学期の学習状況の評価方法》 実習の取り組み，実習日誌，作品等により総合的に評価を行います。					

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (特記事項や他教科との関連等)	考査範囲等
二 学 期		9	※ 学級を3パートに分けて、木工、デザイン、CGの3パートを年間の1/3ずつの期間でローテーションする。		
		10			
		11			
		12			
《課題・提出物等》 毎回、実習日誌を提出します。学習内容の確認と反省を行い、次回に備えます。					
《2学期の学習状況の評価方法》 実習の取り組み、実習日誌、作品等により総合的に評価を行います。					
三 学 期		1			
		2			
		3			
《課題・提出物等》 毎回、実習日誌を提出します。学習内容の確認と反省を行い、次回に備えます。					
《3学期の学習状況の評価方法》 実習の取り組み、実習日誌、作品等により総合的に評価を行います。					
《年間の学習状況の評価方法》 木工・デザインの実習の取り組み、実習日誌、作品等により総合的に評価を行います。					